

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		下水道事業経営事務		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全	所属部	水道局	課長名	坂田 寛之
	施策	17	水の保全・安定供給	所属課	下水道課	担当者名	渡邊綾乃、松永佳志音
	業務分野	60	排水の浄化	所属班	下水道班	(内線)	5286
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		地方公営企業法 下水道法		事業期間	
				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	市民の快適な生活環境と排水の浄化を目的として、企業会計制度に基づく健全な経営に努めている。また、平成27年度に特別会計から地方公営企業法の全部適用の企業会計に移行した。 企業会計理念を基礎とした予算編成(収益的収入支出、資本的収入支出)予算執行、決算処理あるいは決算に伴う消費税申告。議会、監査書類作成。財産備品の管理、預金または起債の管理運用等下水道事業経営事務全般にわたる。 上下水道事業運営審議会の答申を受け、令和元年9月使用分から下水道使用料の改定を行った。 令和5年度は、令和5年9月分からの下水道使用料改定及び令和5年10月1日からのインボイス制度導入等の事務を行った。
【業務の流れ】	予算書作成等予算編成。予算執行。決算書作成等決算処理。並行して起債借入事務を行い、一般会計繰入金を調整し資金を管理する。 下水道事業運営審議会、議会および監査等資料を作成し、業務内容を周知する。 また、自主財源確保に必要な下水道使用料改定に伴う事務等下水道事業経営全般に関わる業務を行う。
【主な予算費目】	収益的支出：関係費(給料、手当、賞与引当金繰入金、法定福利費、報酬、旅費、備用品費、被服費、燃料費、印刷製本費、修繕費、通信運搬費、手数料、委託料、使用料及び賃借料、負担金、保険料、報償費、公課費、貸借引当金繰入金(下水道汚水建設維持管理事業(個別配水処理施設等)分を除く)、減価償却費、資産減耗費、支払利息、固定資産売却損、過年度損益修正損、固定資産売却損、予備費 資本的支出：企業債償還金、予備費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

決算分析、予算執行、予算の補正、予算編成、起債借入等運用、議会及び監査への資料作成及び対応を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

決算分析、予算執行、予算の補正、予算編成、起債借入等運用、議会及び監査への資料作成及び対応業務を行う。

③予算の主な増減の理由

償還金の減少による企業債償還金の減

成果指標

ア 経常収支比率

(単位)

データ取得方法

⇒

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	102.37	114.12	100	0	100	100	100	100
イ	千円		113	200	49	200	200	200	200
ウ	千円	158,000	34,200						
事業費	千円	881,314	1,009,491	1,027,178	982,428	1,023,639	1,069,800	1,069,800	1,069,800
財源内訳	千円	579,565	580,100	528,932	528,932	528,595	530,000	530,000	530,000
一般財源	千円								
(A) 事業費計	千円	1,618,879	1,623,904	1,556,310	1,511,409	1,552,434	1,600,000	1,600,000	1,600,000

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

長期的な収支計画(下水道事業経営戦略)に基づく経営改善を図り、一般会計の基準外繰入金に依存しない経営を行う必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)